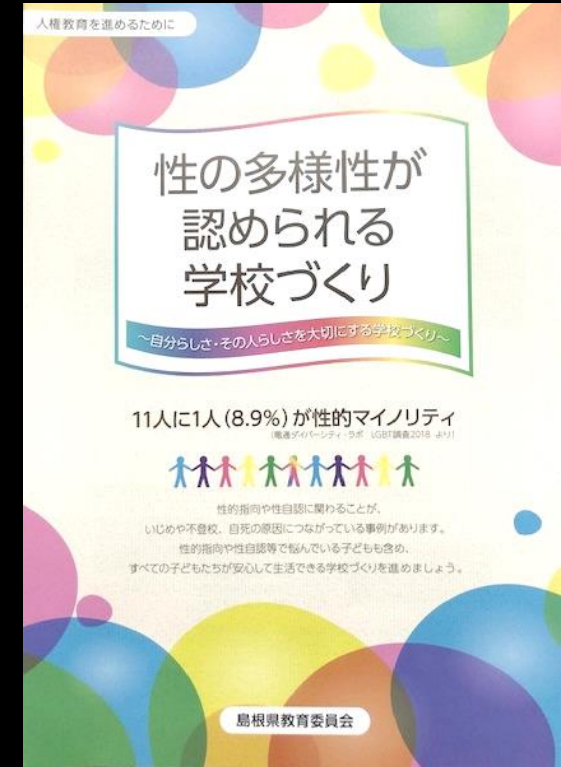


# 性の多様性が認められる学校づくり②

## 教職員にできること



島根県教育庁人権同和教育課



## ◎ねらい

性の多様性が認められる学校づくりの  
ために、教職員が進めていく配慮や支  
援について考える



## ◎流れ

- 1 性的指向・性自認の悩みや不安について
- 2 教職員が配慮や支援を進めていくために
  - ◎教職員の意識
  - ◎児童生徒からの相談があったとき
  - ◎環境づくり
- 3 今後の取組に向けて



1 性的指向・性自認の悩みや不安について  
～どのような悩み・不安があるでしょう？～



◎考えてみましょう

Q あなたの学校で、男女によって区別されているもの・ことには、何がありますか？



# 性の多様性に関わる思い(悩み)と支援・配慮

## 男女別を前提とした しくみ・制度

学校の中には、  
男女別を前提としたしくみや制度があります。  
誰もが安心して生活できる制度になっているか、  
振り返ってみましょう。

自認する性と違う制服を着るのは嫌だ。

座席配置が男女で固定してあるのは苦痛だなあ。

男女で呼び方を変えられるのは何か変じゃない？

アンケート用紙に男女を記入しないといけないのは何でだろう…。

「男子だから」「女子なのに」という決めつけはやめて欲しいなあ。

自認する性とは違うトイレは使いたくない…。

更衣場所が男女別になっているのは使いにくいなあ。

体育や部活動などは自認する性の活動に参加したいなあ。

宿泊研修、お風呂どうしよう…。

### 全体的な対応の検討

- ・誰もが自由に制服を選択できるようにする。
- ・男女同じデザインの制服を採用する。
- ・男女別を基準にしない配置にする。
- ・性別によって呼び方を変えないようにする。
- ・ unnecessary 性別記入欄をなくし、必要ない場合は性別記入を求めないようにする。
- ・性別による決めつけがないか、振り返ってみる(「らしさ」を求めない)。

### 個別の配慮

- ・本人と話し合った上で、自認する性に対応したトイレや多目的トイレの利用を認める。
- ・本人と話し合った上で、個別に使用できる部屋の利用を認める。
- ・体育の授業では、本人と話し合った上で、別メニューで行う。
- ・部活動では、本人及び学校で協議して所属を検討する。
- ・本人と話し合った上で、入浴時刻を他の人とずらす。

# リーフレットの中面 を開いてみましょう

制服

座席

呼称

アンケート

決めつけ

トイレ

更衣室

体育・部活動

宿泊研修



# 性の多様性に関わる思い(悩み)と支援・配慮

## 男女別を前提としたしくみ・制度

学校の中には、男女別を前提としたしくみや制度があります。誰もが安心して生活できる制度になっているか、振り返ってみましょう。

- 自認する性と違う制服を着るのは嫌だ。
- 座席配置が男女で固定してあるのは苦痛だなあ。
- 男女で呼び方を変えられるのは何か変じゃない？
- アンケート用紙に男女を記入しないとイケないのは何でだろう…。
- 「男子だから」「女子なのに」という決めつけはやめて欲しいなあ。
- 自認する性とは違うトイレは使いたくない…。
- 更衣場が男女別になっているのは使いにくいなあ。
- 体育や部活動などは自認する性の活動に参加したいなあ。
- 宿泊研修、お風呂どうしよう…。

### ・ 全体的な対応の検討

- ・ 誰もが自由に制服を選択できるようにする。  
・ 男女同じデザインの制服を採用する。
- ・ 男女別を基準にしない配置にする。
- ・ 性別によって呼び方を変えないようにする。
- ・ 不必要な性別記入欄をなくし、必要な場合は性別記入を求めないようにする。
- ・ 性別による決めつけがないか、振り返ってみる(「らしさ」を求めない)。

### ・ 個別の配慮

- ・ 本人と話し合った上で、自認する性に対応したトイレや多目的トイレの利用を認める。
- ・ 本人と話し合った上で、個別に使用できる部屋の利用を認める。
- ・ 体育の授業では、本人と話し合った上で、別メニューで行う。
- ・ 部活動では、本人及び学校で協議して所属を検討する。
- ・ 本人と話し合った上で、入浴時刻を他の人とずらす。

## 自分って……？ ～とまどい～

自分の性について、とまどいや不安を抱いている子どもがいます。成長の過程や時期により、性的指向や性自認がゆらぐこともあることを理解しておきましょう。

- 私って男の子？女の子？決めなきゃいけないの？
- 同性を好きになったけど、私って変なのかな？
- 男っぽい(女っぽい)身体に成長していくのがつらい。

### ・ 柔軟な受け止めの構え

- ・ 性的指向や性自認に関わる自覚や悩みは、人によって短期であったり長期に渡ったりするなど異なります。教職員は多様な性があることをよく理解して、悩みを受け止める姿勢をもちましょう。

## 周りはどう思っているのかなあ？

- 変な子だと思われていたらいやだなあ…。
- 同性愛をネタにしてからかい合うような教室の雰囲気には耐えられない。ここには居づらいなあ。
- 私を特別視して欲しくない…。

性の多様性をありのままに受け入れられる雰囲気づくり、集団づくりに努めましょう。

### ・ 集団・雰囲気づくり

- ・ 性的指向や性自認を尊重し、同性愛者や性別に違和感のある人などをからかうような言動がなくなるように丁寧な指導や集団づくりをしていきましょう。からかうような発言や雰囲気は黙認しないようにしましょう。

### ・ 児童生徒の理解

- ・ 「からだの性別に違和感がある人も」「恋愛対象は異性だけとは限らない」など、発達段階に応じた理解を子どもにも進めましょう。

## 相談しづらいなあ……

- 打ち明けたら(カミングアウトしたら)、相手が離れていってしまうかも…。
- 先生に相談したら、先生はちゃんと受けとめてくれるのかな？
- 親や家族には知られたくないなあ。



相談することは、本人にとってとても勇気のいることです。相談しやすい雰囲気づくり、環境づくりを進めるとともに、どの教職員でも相談に対応できるように研修等を進めておくことも大切です。

### ・ 相談体制

- ・ 子ども一人一人の違いを認め、気軽に安心して相談できる関係づくりに日頃から努め、学校全体で支える雰囲気をつくりましょう。
- ・ 相談(告白：カミングアウト)する相手は、本人が「相談しても大丈夫な人だ」と思った相手ということです。相談内容を本人の了解なく、第三者(親や家族を含む)に伝えること(暴露：アウトティング)がないようにしましょう。
- ・ 相談を受けたら、丁寧に話を聞きましょう。すぐに病院での受診ということではなく、本人や周囲と相談をしながら丁寧に進めましょう。

### ・ 環境づくり

- ・ 子どもたちのSOGIを含めた多様性に対する理解を進め、子どもたちがお互いに相談しやすい雰囲気を高めていきましょう。
- ・ 性の多様性にかかわるポスター掲示や書籍の紹介などを行い、関心を高めるようにしましょう。相談のしやすさにもつながります。

### ・ 教職員の理解

- ・ 性の多様性について、研修を行うなど、教職員の理解を深め、誰が相談を受けてもよいようにしておきましょう。
- ・ アウトティングは、最悪の場合自死につながります。アウトティングの危険性について十分に理解しておきましょう。

## このページの見方について

- 性的指向に関わる思い
- 性自認に関わる思い
- 性的指向・性自認両方に関わる思い

- ・ 対応のポイント
- ・ 配慮の例
- ・ 支援の例



# とまどい

自分って……？  
～とまどい～

私って男の子？女の子？決めなきゃいけないの？

同性を好きになったけど、私って変なのかな？

男っぽい(女っぽい)身体に成長していくのがつらい。

同性を好きになったけど、私って変なのかな？

女っぽい身体に成長していくのがつらい。





# 性の多様性に関わる思い(悩み)と支援・配慮

## 男女別を前提としたしくみ・制度

学校の中には、男女別を前提としたしくみや制度があります。誰もが安心して生活できる制度になっているか、振り返ってみましょう。

- 自認する性と違う制服を着るのは嫌だ。
- 座席配置が男女で固定してあるのは苦痛だなあ。
- 男女で呼び方を変えられるのは何か変じゃない？
- アンケート用紙に男女を記入しないとイケないのは何でだろう…。
- 「男子だから」「女子なのに」という決めつけはやめて欲しいなあ。
- 自認する性とは違うトイレは使いたくない…。
- 更衣場が男女別になっているのは使いにくいなあ。
- 体育や部活動などは自認する性の活動に参加したいなあ。
- 宿泊研修、お風呂どうしよう…。

- 全体的な対応の検討
  - ・誰もが自由に制服を選択できるようにする。
  - ・男女同じデザインの制服を採用する。
- ・男女別を基準にしない配置にする。
- ・性別によって呼び方を変えないようにする。
- ・不必要な性別記入欄をなくし、必要な場合は性別記入を求めないようにする。
- ・性別による決めつけがないか、振り返ってみる(「らしさ」を求めない)。
- 個別の配慮
  - ・本人と話し合った上で、自認する性に対応したトイレや多目的トイレの利用を認める。
  - ・本人と話し合った上で、個別に使用できる部屋の利用を認める。
  - ・体育の授業では、本人と話し合った上で、別メニューで行う。
  - ・部活動では、本人及び学校で協議して所属を検討する。
  - ・本人と話し合った上で、入浴時刻を他の人とずらす。

## 自分って……？ ～とまどい～

自分の性について、とまどいや不安を抱いている子どもがいます。成長の過程や時期により、性的指向や性自認がゆらぐこともあることを理解しておきましょう。

- 私って男の子？女の子？決めなきゃいけないの？
- 同性を好きになったけど、私って変なのかな？
- 男っぽい(女っぽい)身体に成長していくのがつらい。

- 柔軟な受け止めの構え
  - ・性的指向や性自認に関わる自覚や悩みは、人によって短期であったり長期に渡ったりするなど異なります。教職員は多様な性があることをよく理解して、悩みを受け止める姿勢をもちましょう。

### 周りはどう思っているのかなあ？

- 変な子だと思われていたらいやだなあ…。
- 同性愛をネタにしてからかい合うような教室の雰囲気には耐えられない。ここには居づらいなあ。
- 私を特別視して欲しくない…。

性の多様性をありのままに受け入れられる雰囲気づくり、集団づくりに努めましょう。

- 集団・雰囲気づくり
  - ・性的指向や性自認を尊重し、同性愛者や性別に違和感のある人などをからかうような言動がなくなるように丁寧な指導や集団づくりをしていきましょう。からかうような発言や雰囲気は黙認しないようにしましょう。
- 児童生徒の理解
  - ・「からだの性別に違和感がある人もいる」「恋愛対象は異性だけとは限らない」など、発達段階に応じた理解を子どもにも進めましょう。

## 相談しづらいなあ……

- 打ち明けたら(カミングアウトしたら)、相手が離れていってしまうかも…。
- 先生に相談したら、先生はちゃんと受けとめてくれるのかな？
- 親や家族には知られたくないなあ。



相談することは、本人にとってとても勇気のいることです。相談しやすい雰囲気づくり、環境づくりを進めるとともに、どの教職員でも相談に対応できるように研修等を進めておくことも大切です。

- 相談体制
  - ・子ども一人一人の違いを認め、気軽に安心して相談できる関係づくりに日頃から努め、学校全体で支える雰囲気をつくりましょう。
  - ・相談(告白：カミングアウト)する相手は、本人が「相談しても大丈夫な人だ」と思った相手ということです。相談内容を本人の了解なく、第三者(親や家族を含む)に伝えること(暴露：アウトティング)がないようにしましょう。
  - ・相談を受けたら、丁寧に話を聞きましょう。すぐに病院での受診ということではなく、本人や周囲と相談をしながら丁寧に進めましょう。
- 環境づくり
  - ・子どもたちのSOGIを含めた多様性に対する理解を進め、子どもたちがお互いに相談しやすい雰囲気を高めていきましょう。
  - ・性の多様性にかかわるポスター掲示や書籍の紹介などを行い、関心を高めるようにしましょう。相談のしやすさにもつながります。
- 教職員の理解
  - ・性の多様性について、研修を行うなど、教職員の理解を深め、誰が相談を受けてもよいようにしておきましょう。
  - ・アウトティングは、最悪の場合自死につながります。アウトティングの危険性について十分に理解しておきましょう。

## このページの見方について

- 性的指向に関わる思い
- 性自認に関わる思い
- 性的指向・性自認両方に関わる思い

- 対応のポイント
- 配慮の例
- 支援の例



# 周りからどう思われているか

周りはどう思っているのかなあ？

変な子だと思われていたらいやだなあ…。

同性愛をネタにしてからかい合うような教室の雰囲気になんて耐えられない。ここには居づらいなあ。

私を特別視して欲しくない…。

変な子だと思われていたらいやだなあ…。

同性愛をネタにしてからかい合うような教室の雰囲気に耐えられない。ここには居づらいなあ。



# 性の多様性に関わる思い(悩み)と支援・配慮

## 男女別を前提としたしくみ・制度

学校の中には、男女別を前提としたしくみや制度があります。誰もが安心して生活できる制度になっているか、振り返ってみましょう。

### ・ 全体的な対応の検討

- ・ 誰もが自由に制服を選択できるようにする。  
・ 男女同じデザインの制服を採用する。
- ・ 男女別を基準にしない配置にする。
- ・ 性別によって呼び方を変えないようにする。
- ・ 不必要な性別記入欄をなくし、必要な場合は性別記入を求めないようにする。
- ・ 性別による決めつけがないか、振り返ってみる(「らしさ」を求めない)。

### ・ 個別の配慮

- ・ 本人と話し合った上で、自認する性に対応したトイレや多目的トイレの利用を認める。
- ・ 本人と話し合った上で、個別に使用できる部屋の利用を認める。
- ・ 体育の授業では、本人と話し合った上で、別メニューで行う。  
・ 部活動では、本人及び学校で協議して所属を検討する。
- ・ 本人と話し合った上で、入浴時刻を他の人とずらす。

- 自認する性と違う制服を着るのは嫌だ。
- 座席配置が男女で固定してあるのは苦痛だなあ。
- 男女で呼び方を変えられるのは何か変じゃない？
- アンケート用紙に男女を記入しないとイケないのは何でだろう…。
- 「男子だから」「女子なのに」という決めつけはやめて欲しいなあ。
- 自認する性とは違うトイレは使いたくない…。
- 更衣場所が男女別になっているのは使いにくいなあ。
- 体育や部活動などは自認する性の活動に参加したいなあ。
- 宿泊研修、お風呂どうしよう…。

## 自分って……？ ～とまどい～

自分の性について、とまどいや不安を抱いている子どもがいます。成長の過程や時期により、性的指向や性自認がゆらぐこともあることを理解しておきましょう。

### ・ 柔軟な受け止めの構え

- ・ 性的指向や性自認に関わる自覚や悩みは、人によって短期であったり長期に渡ったりするなど異なります。教職員は多様な性があることをよく理解して、悩みを受け止める姿勢をもちましょう。

- 私って男の子？女の子？決めなきゃいけないの？
- 同性を好きになったけど、私って変なのかな？
- 男っぽい(女っぽい)身体に成長していくのがづらい。

## 周りはどう思っているのかなあ？

性の多様性をありのままに受け入れられる雰囲気づくり、集団づくりに努めましょう。

- 変な子だと思われていたらいやだなあ…。
- 同性愛をネタにしてからかい合うような教室の雰囲気に耐えられない。ここには居づらいなあ。
- 私を特別視して欲しくない…。

### ・ 集団・雰囲気づくり

- ・ 性的指向や性自認を尊重し、同性愛者や性別に違和感のある人などをからかうような言動がなくなるように丁寧な指導や集団づくりをしていきましょう。からかうような発言や雰囲気は黙認しないようにしましょう。

### ・ 児童生徒の理解

- ・ 「からだの性別に違和感がある人もいる」「恋愛対象は異性だけとは限らない」など、発達段階に応じた理解を子どもにも進めましょう。

## 相談しづらいなあ……

- 打ち明けたら(カミングアウトしたら)、相手が離れていってしまうかも…。
- 先生に相談したら、先生はちゃんと受けとめてくれるのかな？
- 親や家族には知られたくないなあ。

### 相談体制

子ども一人一人の違いを認め、気軽に安心して相談できる関係づくりに日頃から努め、学校全体で支える雰囲気を作りましょう。相談(告白:カミングアウト)する相手は、本人が「相談しても大丈夫な人だ」と思った相手ということです。相談内容を本人の了解なく、第三者(親や家族を含む)に伝えること(暴露:アウティング)がないようにしましょう。相談を受けたら、丁寧に話を聞きましょう。すぐに病院での受診ということではなく、本人や周囲と相談をしながら丁寧に進めましょう。

### 環境づくり

子どもたちのSOGIを含めた多様性に対する理解を進め、子どもたちがお互いに相談しやすい雰囲気を高めていきましょう。  
・ 性の多様性にかかわるポスター掲示や書籍の紹介などを行い、関心を高めるようにしましょう。相談のしやすさにもつながります。

### 教職員の理解

・ 性の多様性について、研修を行うなど、教職員の理解を深め、誰が相談を受けてもよいようにしておきましょう。  
・ アウティングは、最悪の場合自死につながります。アウティングの危険性について十分に理解しておきましょう。

相談することは、本人にとってとても勇気のいることです。相談しやすい雰囲気づくり、環境づくりを進めるとともに、どの教職員でも相談に対応できるように研修等を進めておくことも大切です。

## このページの見方について

- 性的指向に関わる思い
- 性自認に関わる思い
- 性的指向・性自認両方に関わる思い

- ・ 対応のポイント
- ・ 配慮の例
- ・ 支援の例



# 相談のしづらさ

相談しづらいなあ……

打ち明けたら（カミングアウトしたら）、  
相手が離れていってしまうかも……。

先生に相談したら、先生はちゃんと受けとめて  
くれるのかな？

親や家族には知られたくないなあ。

打ち明けたら、相手  
が離れていってしまう  
うかも…。

先生に相談したら、  
先生はちゃんと受け  
とめてくれるのか  
な？

親や家族には知られ  
たくないなあ。



性的指向・性自認についての悩みや不安を  
もつ児童生徒がいる



性の多様性が認められる学校づくり



誰もが安心して生活できる学校づくり



## 2 教職員が配慮や支援を進めていくために ～どのように進めていくことができるのか？～

◎教職員の意識

◎児童生徒から相談があったとき

◎環境づくり



## ◎教職員の意識

### ○教職員からはじめましょう

「多様な性のあり方がある」

=性のあり方は人それぞれという認識をもつ

「知ること」から

困っている児童生徒の様子に「気づくこと」

さらに配慮・支援「できること」は何か？



## ◎児童生徒から相談があったとき

### ○相談の受けとめ

もし、あなたが性に関する相談を受けたら  
何と答えますか？

例：「実は、カラダの性とココロの性に  
違和感があります」





# ◎児童生徒から相談があったとき

## ○相談の受けとめ

### 大げさな反応

こんな相談をする子は他にいないんだ。

やっぱり私は変な子なんだ。

相談者の不安を大きくする場合もある



◎児童生徒から相談があったとき

○相談の受けとめ

ありのままを受けとめる

「そうなんだ」

「話してくれてありがとう」

安心感

+ 「何か困っていること、私にできることがあったら、いつでも言ってね」



◎児童生徒から相談があったとき

○相談を受けたときのポイント

なぜ、相談をしてきたのでしょうか？

- ・一人で抱えきれず、誰かに聞いてほしい
- ・本人にもわからない、どうしたらよいかわからない

「すぐに何かしてほしい」というわけではない場合もある



◎児童生徒から相談があったとき

○相談を受けたときのポイント

大切なのは、

「本人が何に困っているか」

「本人が何を望んでいるか」

本人の思いを丁寧にきく



◎児童生徒から相談があったとき

○相談者への配慮

「いつ」「誰に」カミングアウト（告白）  
するかは、本人が決めること

他の人への相談や告白を勧めることなどは  
必要のないこと



◎児童生徒から相談があったとき

○相談者への配慮

親や家族には知られたくないなあ。

相談を受けたあと、**他の教職員や保護者に伝える場合、本人の了承が必要**

⇒アウティング（暴露：本人の了承なく、第三者に性的指向・性自認のことを伝える）は、最悪の場合、自死にもつながる

丁寧な相談（伝えてもよいか？）



◎児童生徒から相談があったとき

○相談者が相談をする相手

相談する相手は、

本人が「**この人なら大丈夫**」と選んだ人

同性を好きになった  
けど、私って変なの  
かな？

女っぽい身体に成  
長していくのがつ  
らい。

言いにくい、話しづらい、話す勇気がいる



# ◎児童生徒から相談があったとき

相談のしやすさ→児童生徒との関係性も大切

先生に相談したら、先生は  
ちゃんと受けとめてくれるの  
かな？

日頃から話をきく姿勢  
相談しやすい関係・雰囲気づくり

誰もが相談にのることができる体制づくり





# ◎環境づくり

○相談しやすくするために

書籍・ポスター等を展示・掲示する

レインボーフラッグやリボン  
を飾る、教職員が身に着ける



関心のある  
人がいる



理解してくれ  
る人がいる



相談してみ  
ようかな



## ◎環境づくり

○学校で、男女によって区別されているもの・

ことの見直し

→男女別のしくみや制度を**すべて変えるこ**

**とが目的ではない**

そのしくみ・制度は…

なぜ必要なのか？

本当に必要か？

違う方法はないか？

**見直す**



## ◎環境づくり

- 学校で、男女によって区別されているもの・  
ことの見直し
- ・児童生徒の性的指向・性自認に関する悩みや不安の軽減につながる
- ・性の多様性が認められる学校づくりを進める教職員の姿勢が、性の多様性を認め合える児童生徒を育むことにつながる



### 3 今後の取組に向けて



教職員の意識  
環境づくり…

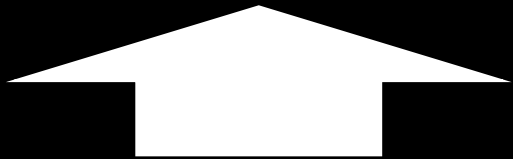
支援の「スタート」にすぎない

⇒ 学校全体の理解



# 性の多様性が認められる雰囲気

- ・ スラックスの制服を着用している女子生徒
- ・ 女子と一緒に遊ぶことを好む男子児童
- ・ 男子同士で手をつないで歩く生徒 など



**特別視**していませんか？



教職員の意識を高めること  
環境づくりをスタートとして  
→学校全体の理解を進める

性の多様性が認められる学校づくり

まずは教職員から  
→何からどのように始めますか？



# ◎研修例・・・あなたの学校の次の一歩は何か？

## ①個人ワーク

ふせんに「学校ででき  
そうなこと」を書く

## ②グループワーク

右のシートをもとにふ  
せんワークをする

## ③全体共有

意見交換をし、取組  
の検討につなげる

